

平成26年度第6回赤穂市子ども・子育て会議 議事録

【日 時】平成27年1月28日（水）午前10時～午前10時35分

【場 所】赤穂市役所 6階大会議室

【出席委員】13名

半田結会長 [関西福祉大学社会福祉学部教授]、藤井恵美子副会長 [兵庫大学こども福祉学科准教授]、山根寿美子委員 [赤穂市主任児童委員代表]、岩崎由美子委員 [赤穂市地域活動連絡協議会会長]、中川尚子委員 [尾崎幼稚園園長]、今津洋子委員 [有年幼稚園園長]、小山寛委員 [塩屋小学校校長]、矢野由香委員 [坂越保育所所長]、関尾裕子委員 [赤穂保育所所長]、川崎千春委員 [御崎保育所保護者会会長]、山路優子委員 [幼稚園PTA育成部]、玉石彩委員 [公募市民]、中川正悟委員 [公募市民]

【欠席委員】2名

今井眞治委員 [赤穂商工会議所専務理事]、井上昭彦[連合西播赤穂地区連絡会会長]、

【事務局】

健康福祉部 折原和彦健康福祉部長、山野良樹子育て健康課長、山内光洋保健センター所長、
前田光俊子育て健康課こども支援係長

教育委員会 三谷勝弘教育次長（管理）、山本伊津子こども育成課長、溝田康人生涯学習課長

【次 第】

1 開会

2 議事

赤穂市子ども・子育て支援事業計画（素案）について

3 その他

4 閉会

1 開会

～事務局～

本日はお寒い中、当会議に出席いただきましてありがとうございます。本日の委員出席者は、井上委員と今井委員から欠席の連絡がありましたので、15名中13名出席してい

ただいております。したがって赤穂市子ども・子育て会議条例第6条第2項の定足数を満たしていることを報告いたします。

次に、事前にお渡ししている資料の確認をさせていただきます。まず本日の次第と資料1としまして赤穂市子ども・子育て支援事業計画案、資料2としまして赤穂市子ども・子育て支援事業計画素案の意見募集の実施結果についてでございます。もし不足等があれば事務局に申し付けいただければと思います。それでは会長よろしく申し上げます。

～会長～

まず会議の傍聴公開についてですが、議題には不開示情報が含まれておりませんので本日の会議は公開とさせていただきます。本日3名の傍聴がありますのでお入りいただきたいと思います。

(入室していただく)

それでは議事に入ります。赤穂市子ども・子育て支援事業計画(案)につきまして、事務局より説明をお願いします。

2. 議題

(1) 赤穂市子ども・子育て支援事業計画(案)について

～事務局～

資料2をご覧くださいと思います。

昨年12月22日から今年の1月21日にかけて、資料閲覧場所に記載しております市役所や公民館等におきまして子ども子育て支援事業計画素案の意見募集を行いました。赤穂市ホームページ・広報紙でPRを行い、また地元の新聞で記事として取り上げていただきましたが、募集した結果、意見の提出はありませんでした。このため子ども子育て支援事業計画案としましては前回の会議で取りまとめました素案からは若干の文言の修正程度にとどめております。

資料1をご覧くださいませるか。グレーで網掛けしております所が前回からの修正点となっております。表紙の所ですが素案としておりましたところをパブリックコメント終了に伴いまして案としております。1ページ以降「※」印がついていると思いますが後ほど説明させていただきます。27ページお願い致します。真中あたりに前回の資料では発達障害のタイプを明記しておりましたが、「自閉症スペクトラム」という用語に変更しております。70ページまでは特に言い回し等の変更ですので説明は省略させていただきます。71ページをお願いします。71ページからは第7章・資料編として新たに加えております。用語の説明としまして※印の付いた用語を掲載しております。「※」印は用語が最初に出て来る所につけてあります。74ページをお願いします。赤穂市子ども・子育て会議条例を記載しております76ページからは子ども・子育て会議委員の名簿と事業推進班の名簿、そして78ページ平成25年6月11日の第1回事業推進班会議から今日の会議までの策定経過を明記しております。

以上パブリックコメントでご意見が出なかったこともありまして前回の素案から特に大

きく変更した点はございません。簡単ですが以上で説明終わります。

～会長～

ありがとうございます。今の件、パブリックコメントでの意見がなかったとのことですが、何かお気づきの点、ご意見・ご感想等いかがでしょうか。前回、委員の皆様におはかりをしてこれでいきましょうということでパブリックコメントに出したわけですので、特にというようなこともないかとは思いますが、ないようでしたらこれで新年度以降すすめて行くこととなります。なにか途中でお気づきの点ございましたらお伺いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。今後の進め方はどのようにしたらいいでしょうか。

～事務局～

今後の予定といたしましては、決定いたしました計画を兵庫県に提出する予定にしております。2月に入りますと計画書の製本に取り掛かりまして3月末までにはでき上がる予定です。計画の概要版も作成する予定です。保育所・幼稚園の保育料についての利用者負担に関する条例を次の議会に上程致しまして利用者負担額を決定します。そしていよいよ4月からは事業計画に基づいた事業を実施してまいりたいと考えております。

～会長～

ありがとうございます。説明いただいたようなスケジュールになります。それでは赤穂市子ども・子育て支援事業計画案について事務局案どおりでよろしいでしょうか。ありがとうございます。せっかく長く計画に携わってくださっておりますので何か感想など皆様一言、計画案についてでも、途中のもろもろについてでも、今年度はこれが最後の会議になると思いますので、一言ずつ皆様にお話しただけたらと思います、よろしくお願ひします。

～委員～

働くお母さんの強い味方という形での施策ができて来て良いことだと思っています。しかし、色々子どもたちの背景においてもっとお母さんたちの手や目が入った方がこういう問題は起きないのというようなことを考えた時に、働くことにより経済が豊かになってというのは良いことですが、働きやすさの部分だけに施策がつくられているように感じます。「本来子どものための」というところの目線での声かけであったり手助けであったり我々がどうフォローするかというところを思いながら支援していきたいなと思っております。

～委員～

長い間皆様とご一緒させていただきましてありがとうございました、また事務局の皆様も大変だったと思います。こんな良い案ができたことを大変うれしく思います。先ほど委員が仰ったように、この事業計画案ですが、働くお母さんのためというか、個人的な意見

ですが虐待などの問題があり、なかなか子育てがしにくいお母さんが多く、少子化や虐待の問題がある中で色々な目をかけ育てていこうというのがこの計画の中に隠れていると思います。地域みんなで子どもを増やして行こう・虐待を減らして行こうというように事業計画を実行できたらと思います。計画ができたから終わりではなく皆さんで実行していくことが大事だと思います。

～委員～

この会で様々な分野の方と良い出会いをさせて頂いて嬉しいことだと思っております。幼稚園の方としましては1番この計画案に多く携わる部分があります。それらはハード面の部分ですので、この計画が現実のものとなって私たちのところに降りて来た時には、もっと考えなくてはならない部分が出てきたり、計画は計画でとても良いと思うのですが、実際に子どもたちを受け入れた時にこういう所ももう少し考えなくてはならないなというところが出て来ると思うのです。それは現場の私たちが子どもたちを中心におき、頑張っ
て行かなければならないところだと今痛切に感じております。こういう機会に携わらせて頂いたことに感謝してこれからの子どもたちのことをしっかりと支えて行きたいと思っております。ありがとうございました。

～委員～

ありがとうございました。私も有年幼稚園に勤めており少人数の園なのですが、アンケートを取った時に少人数でも保育に安心していてくれるお母さんの意見が多く、それが一番心に残っております。いろんな意見を吸い上げていただきましてそれに則った計画ができたのではないかと感じております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

～委員～

特に関連があったのはアフタースクールですが、この計画ができて計画に添って進んでいくわけですが、アフターにつきましては早速4月にむけて募集に入っております。質問になりますが見込み量と募集の現状は同じようなものでしたか？差があったのでしょうか？

～事務局～

前段階の応募が300名ありました。昨年200名ほどだったのが1.5倍でだいたい見込みどおりのところです。

～委員～

アンケート・見込み量、だいたい合っていたということですね。ありがとうございます。

～委員～

失礼します。保育所から参加させていただきました。この会議を重ねるごとに色々な資料を見せて頂いてアンケートの数値も自分たちが思っていた以上に保護者の多様なニーズ

があり、数値も高いことが参加して実感することができました。様々なニーズに応えるために今回計画されました案を実際に保育所として実践する場合に一番ネックになって来るのが保育士不足という問題であると感じております。それだけではなく、その進路に進むまでに小さなうちから親になることが良いことだと思えるように、子どもに関わって行かなければいけないのではないかと思います。この計画の中で、保育所・幼稚園・小学校だけではなく色々な意識をもって大人になって行くことで、ただ要望を出すだけではなく、どうしたら良いのかを一緒に考えられるような大人に育てて行かなければならないと思っております。そのために小さいうちから頑張っていきたいと思っております。このような貴重な機会ありがとうございました。

～委員～

保育所です。今 27 年度入所の決定がそれぞれ出るところです。待機児童を出さないということで、お母さんが希望するところに入れるように努力しているのですが、やはり「こちらどうですか」となってしまうところもあります。4、5歳児を幼稚園で見ましようかともなりましたが、やはり親のニーズを一番に考えまして保育所を選んだ場合はしっかりお預かりし保育・教育しましょうという方向で新たな気持ちでまいります。また、未満児の多くの子どもを預かりますのでしっかり保育していこうと思っております。親御さんが「預けてそのまま」ではいけないと思っておりますので、やはり子育ては楽しいのだ、仕事よりも楽しいのだということも知らせて行かねばならない、大きな役割があると思っております。以上です。

～委員～

保育所の保護者を代表して参加させて頂きました、また来年度も保育所・幼稚園で子どもがお世話になります。本当に素敵な案を作成して頂いてうれしく思っております。同じ子育てをしているお母さんたちのニーズや気持ちなどがよく分かり、私の心の支えにもなりました。ありがとうございました。

～委員～

幼稚園のPTA代表で出席させて頂きました。はじめは私では役不足ではないかと思いつながりながら参加させて頂きましたが、色々な方と出会い意見を聞くことができ、このような意見があるのだとわかり、これから私も幼稚園生活が4年間あるのですが役立たせることができれば良いなと思えました。ありがとうございました。

～委員～

一般公募でここにご縁を頂いたのですが、色々勉強になりました。ひとつ計画をするのにこんなにたくさんの方々が携わり、様々なお話で成り立っているのだと勉強させていただきました。私自身3人の子どもを持つ母で仕事をしていないのですが、子育てを楽しんでこれからもやっていきたいと思えました。

～委員～

みなさん、お疲れさまでした。このような素晴らしい会議を持たせて頂き、私も勉強になりました。新制度に変わるということでわからないところからの出発でしたが、色々な立場からのご意見を聞かせて頂いて自分の意見も反映させることができまして、素晴らしい案ができたことをうれしく思います。同時にこれで終わりではなくこれからの子育て会議に引き継がれて行き、ここで議論されたこと、されなかったこと、あるいは課題が解決していない問題や具体化していかなければならない問題など、これからも出て来ると思っています。これからの子育て会議の皆さんに期待したいと思っています。私としては一保育士としてここで勉強させて頂いたことを生かし子育て支援や成長についてどう関われるか、個人の問題として考えて行きたいと思っています。ありがとうございました。

～会長～

ありがとうございました。毎回皆様にこのようにお話しして頂いたらよかったかと今思いました。本当に皆様ありがとうございました。それでは議事（3）その他、何かございますか？

3. その他

事務局特になし。

～会長～

最後ということで、藤井先生よろしいでしょうか？

～副会長～

大学の方から、赤穂市の子育て会議に参加させて頂きました。昨年から何度か来させて頂いたのですが、私は赤穂の地域性を前面に出して素晴らしい案ができたということが一番の良いことだと思っております。子どもたちのことを真剣に考えられ、きちっと計画に反映されていることが一番良いなど、毎回何もいうことがなく素晴らしい会だったと思っております。これから5年実施されますが、やはりやって行きながら微調整が必要なことも出て来ると思いますが、政府も動いています。22日には内閣府のお話を伺いに東京へ向かいますし、2月には保育教諭の認定子ども園の研究会がありますので、そこでの情報など色々なものを私自身も出かけて吸収し、それを色々なところで広めたり、学生にも話をしながら今後の幼児教育をどうしていくかを考えて行きたいと思っております。本当に赤穂市の素晴らしい案に参加させていただき感謝しております。大学のお知らせになりますが、0・1・2歳の子ども大学ガーデンという地域子育て支援の拠点という形で学生の学び・地域貢献も教員の研究を含めてのものを実施しておりまして、昨日修了式を行いました。勤めている家庭の方も参加されており、ガーデンのある時はお仕事をお休みされて参加されます。昨日は修

了式に御両親で来られる方も何名かありました。そのような方々をみておりましたら、保護者の中で悩んでいる方は周りのお子様をみながら、そのような場に集まり子育てを考えられて困ったことがあれば教員に相談したり、お母様同士で相談しあったり、検診行った時にこう言われた等、温かい雰囲気の中で保護者同士が話しをしたり教員が入るなど支援をしております。その中で「母親がいかにか子育てをしながら働く環境を」と政府が言われていますが、今は働けない・子育てに専念したいという方々の集まる拠点をどう支援していくかも大事だと思います。幼稚園・保育園も未就園児の集まりをしておられると思います。人手のない所でどう支援していくかも考えて行くことも大事かと思えます。今は子育てに専念したいという方も多くありますので、いろんなくくりの中で色々な支援をして行くことができ子どもたちが健やかに成長していけるようにと祈っております。本学にも私が所属しております、教員養成のこども福祉学科があります。福祉と教育と医療に強い学生を2年後には送り出せます。保育科という短期大学部もあり、質の高い保育者養成ということで学生を指導しておりますので就職させていただければそこでさらに保育者が育つようにして頂けたらと思います。長い間ありがとうございました。

～会長～

ありがとうございます。領域を超えながら、携わる人も専門職だけではなくボランティアに一般の方も関わられるような、垣根をこえ協働して子どもたちを中心に据えてということで、国もこのように事業計画を推進したのだと思います。先生の紹介してくれた大学のようことが赤穂市で、部署部署が比較的近くでやりとりができる規模の都市だと思えますので、事業を進めながら出てくる課題に対しても、率直に話し合える場を子育て会議なのか、そこに行政が関わって色々やっていたらなと言ってもらえたらなと、そんな風なようにしてこの計画を進めていけたらなと皆様のお話を伺いながら思っておりました。

拙い司会でご迷惑をおかけしたり、もっと皆様のご意見を伺えることがあったのではないかと思ひながら無事に計画ができましたことを皆様に感謝いたします。ありがとうございました。これをもちまして終了させて頂きます。事務局へお返しいたします。

～事務局～

ありがとうございました。昨年の12月より本日まで長期間にわたりまして赤穂市の子ども子育て支援のために、熱心にご審議いただきましてありがとうございました。新年度より計画の実施に入りますが計画が着実に実施できますよう、事務局としましても気を引き締めて施策を推進していきたいと考えておりますので、どうぞご支援ご協力をお願いしたいと思います。本日はありがとうございました。